

第1回対話会

【竹浦・虎杖浜地区】

●対話会参加者

- ・町内会役員 12名
- ・企業、事業者 4名
- ・町民活動団体 2名
- ・地域おこし協力隊 2名
- ・役場(推進班) 5名 計 25名

●地域の思い出、昔話。

- ・竹浦は地元の店を利用しないから、店が減っていった。でも虎杖浜地域は違う。地元愛が強い。
- ・クッタラ湖は、魅力的な資源。ただ、登別市を通らないと行くことができない。
- ・ナチュラルサイエンスまでの道は舗装されているが、それ以降(桔梗原農園側)は舗装されていない。舗装されたら、人通りが増えるかもしれない。
- ・竹浦には昔、駅前に旅館があった。また鉄鉱石が獲れたため、鉄道も走っていた。
- ・虎杖浜地区の人は、スーパーで買い物をする。海のはあまり食べない。最近は量が獲れないから。昔はたくさん水揚げされていたが。
- ・虎杖浜の灯籠流し
- ・隣の地区のまつりを知らない。まつりマップなんてあったらどうか。
- ・飛生のまつりには、地元の人がほとんどいらない。サービス券を配ってもなかなか足を運ばない。アートというものは町民にとって難しいのか。

●最後に今の感想を一言

- ・出だしは何が何だかわからなかったが、趣旨が理解できた。これから、みんなと対話していきたい。
- ・竹浦のまつりの話を聞いて、まつりに行きたくなった。
- ・地元のことは知っているが、他の地域のことは全然知らないことに気がついた。一人ひとりが地域の宣伝マンにならなくてはいけないと思った。
- ・年配の人たちから、経験や知恵を学ぶことができた。
- ・飛生のことを発信できたことがよかった。
- ・まつりは人に見せるものではなく、地域のため、という部分が強い印象。
- ・虎杖浜には昔ながらの伝統が残っているのが分かった。

●附箋の内容(参加者の自由意見)

★テーマの話★

- ・集まったメンバーでテーマを話し決めてみては？
- ・目標を決める。2020年に向けて町民ができること。竹浦・虎杖浜のいいところをピックアップする。
- ・白老の文化と歴史。アイヌ民族の文化。
- ・白老の自然で誇れるもの。
- ・昔の話。居住の催し。未来の話。
- ・夏の楽しみ、遊びというテーマも良かったので、ちょっと残念だった。

★その他★

- ・またやってほしい！ 地域のあるもの探し！
- ・小さくても動き続ければ成果は出ます。町民の力を信じましょう。
- ・やはり初参加の方への主旨説明は必要だった。
- ・次回は若い人の考え方を聞ける集会になれば良いと思います。
- ・アイヌ民族について勉強したい。
- ・テーマを変えて今後の対話会が円滑に進行できれば良いと思いました。
- ・継続して行ってください。
- ・会場にタイトル“白老みらい”の垂れ幕でもあれば…

★会場の様子

